

働く女性Real Vol.2
『“オフィスで働く女性”のいまとこれから』
調査レポート

2017.05

リビング暮らしHOW研究所

オフィスで働く女性の7割超が 『経済的不安がなくても働きたい』

- 現在働いている理由は「生活費」が約8割。次いで「経済的自立」51.9%、「小遣い」41.9%と金銭的な理由が上位を占める。（複数回答）
- とはいえ、「経済的不安がなくても働きたい」人が7割超。その理由は、「経済的自立」49.1%、「小遣い」48.1%と経済面をより充実させたい意向が強いものの、「人との交流」48.1%、「自分の成長」41.4%とソフト面のメリットを挙げる人も多い。（複数回答）

60歳を超えても働きたい人が3分の1以上

- 結婚・出産による離職を望む人は1割程度。大多数が仕事を続けたいと思っていて、60歳を超えても働きたい人が36.2%。長く働く理由として、フリーアンサーでは「年金への不安」や「充実した老後生活のため」など、高齢化社会を見据えた意見が上がった。
- 会社などの組織に属して定年まで働くと思う人は、全体の約4割。年代が上がるにつれ増え、40代では50%がそう思っている。20代は「組織に属して定年まで働くと思わない」43.1%、30代は「わからない」47.9%が最も多く、年代により差がある。

働き続けるためにしたいことは「心身の健康管理」

- 今後の人生で、仕事をする上で、「すでになんらかの行動をしていること」では、「食生活や運動習慣の改善」44.7%、「ストレス解消・メンタルヘルスマネジメント」37.2%が上位に。「今から行動した方がいいと思うこと」でも、この2項目が上位で、キャリアアップやスキル習得よりも心身の健康に関心が高い傾向が見られた。また、「職場以外の人間関係づくり」23.3%、「副業や起業につながる技術や資格取得」24.3%など、長く働くことを見据え、今の職場・仕事の枠を超えた、多様な働き方を意識していることが分かる。（複数回答）

東京オリンピック後の2021年（4年後）も 会社などの組織で働いていたい人が4分の3 約6割がステップアップ、約5割が年収アップを予測

- 4年後、今と働き方を変えていたい人が6割超だが、何らかの行動をしている人は17.8%。
- 4年後も「今の会社（同じ部署・別の部署）で働いていたい」人が57.6%。別の会社で働いていたい人も含めると、会社などの組織で働いていたい人が4分の3。そのうち、役割・役職をステップアップしていると思う人が58.2%、年収アップしていると思う人が50.2%。
- 4年後、今よりも「人生の幸せにつながる働き方」になっていると思う人は36.7%。「今と変わらない」と回答した人は59.3%だが、フリーアンサーで理由を聞くと、「現状に満足」「幸せとを感じるかは自分次第」と前向きな意見も多い。

4年後、自分の会社で「短時間勤者・女性管理職・介護休業取得者の増加」「労働時間の短縮」を、2割超の人が予測

- 現在勤務している会社・職場で、4年後に変化していると思うことを17項目を挙げて聞くと、2割以上のポイントを集めたのは、「短時間勤務者の増加」30.7%、「女性管理職の増加」27.9%、介護休業取得者の増加」22.5%、「残業時間・勤務時間の短縮」22.0%。労働環境の変化を身近に感じている人が増えている。（複数回答）
- 今、日本で進んでいる様々な施策で、自分の人生に関係ありそうなことを聞くと、「育児と仕事の両立」52.5%、「介護と仕事の両立」45.5%の回答が多い。そんなライフステージの変化に対応するため、「労働時間の短縮」39.0%や「副業の許可」31.3%、「在宅勤務や働き方の多様化」27.6%など柔軟な働き方への関心の高さが窺える。（複数回答）

※数字は小数点以下四捨五入

【実施日時】 3月15日（水）～3月31日（金）

シティリビング公式サイト「シティリビングWeb」でのアンケート

【調査対象】 東京・横浜の企業で働いている20代～40代の女性 有効回答数 / 387

【設問】

Q1.勤務先の業種

Q2.勤務先の規模（全従業員数）

Q3.雇用形態

Q4.職種

Q5.今の職場での勤続年数

Q6.現在のポジション

Q7.転職経験

Q8.現在の年収（税込み）

Q9.あなたが現在、働いている理由はなんですか？（複数回答）

Q10.現在も将来も経済的な不安がないとしたら、働き続けたいですか？

Q11.「働き続けたい」を選んだ人にうかがいます。その理由は？（複数回答）

Q12.「働き続けたくない」を選んだ人にうかがいます。その理由は？（複数回答）

Q13.あなたは収入を得る仕事をいつまで続けたいと思いますか？

Q14.会社などの組織に属して定年まで働くと思いますか？

Q15.あなたが今後の人生で仕事をする上で「すでになんらかの行動をしていること」「今から行動した方がいいと思うこと」は？（複数回答）

Q16.東京オリンピックが終わった2021年（今から4年後）の、あなた自身の働き方について伺います。2021年ごろには、今と働き方を変えていたいと思っていますか？

Q17.行動をはじめている人 具体的に、どんなことをしていますか？

Q18.今の職場で働いていたいと思いますか？

Q19.今よりも役割・役職はどうありたいと思いますか？

Q20.年収はどう変わっていると思いますか？

Q21.自分の働く時間はどう変わっていると思いますか？

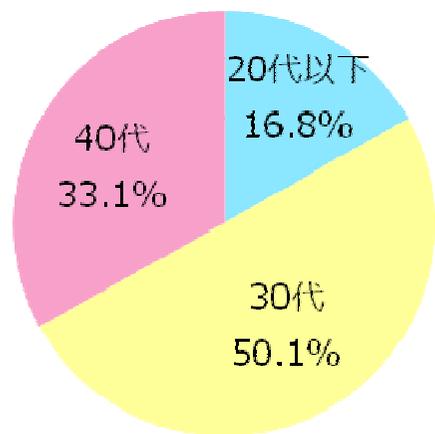
Q22.今よりも「人生の幸せにつながる働き方」になっていると思いますか？

Q23.2021年に、あなたの現在の会社・職場が、今と変化していると思うこと（複数回答）

Q24.今、日本で進んでいる様々な施策、「一億総活躍」「働き方改革」「女性活躍推進」などで、あなたが「自分の人生に関係がありそう」と思うことは？（複数回答）

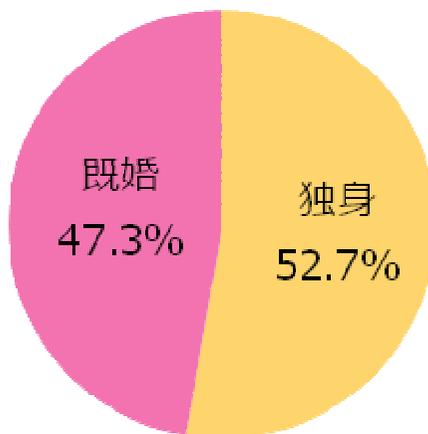
Q25.自分にとって「幸せな働き方」のイメージがあればお書きください。

年代

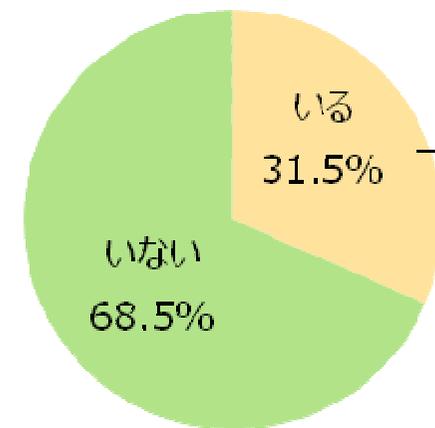


平均年齢 36.1歳

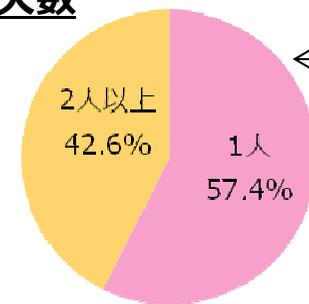
結婚



子どもの有無

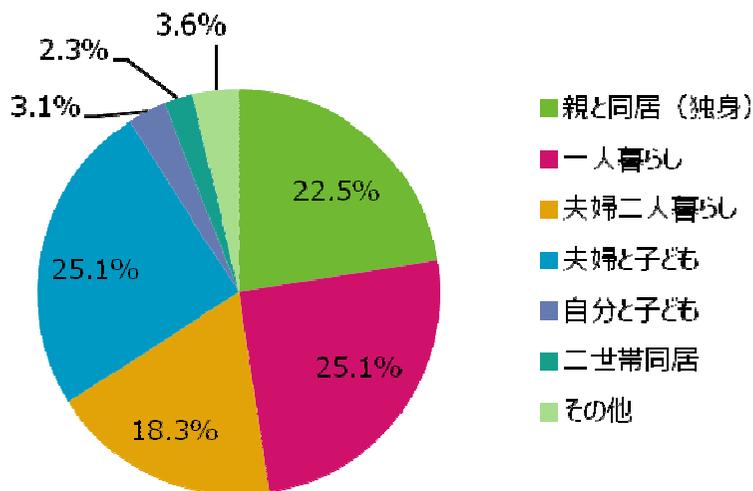


子どもの人数

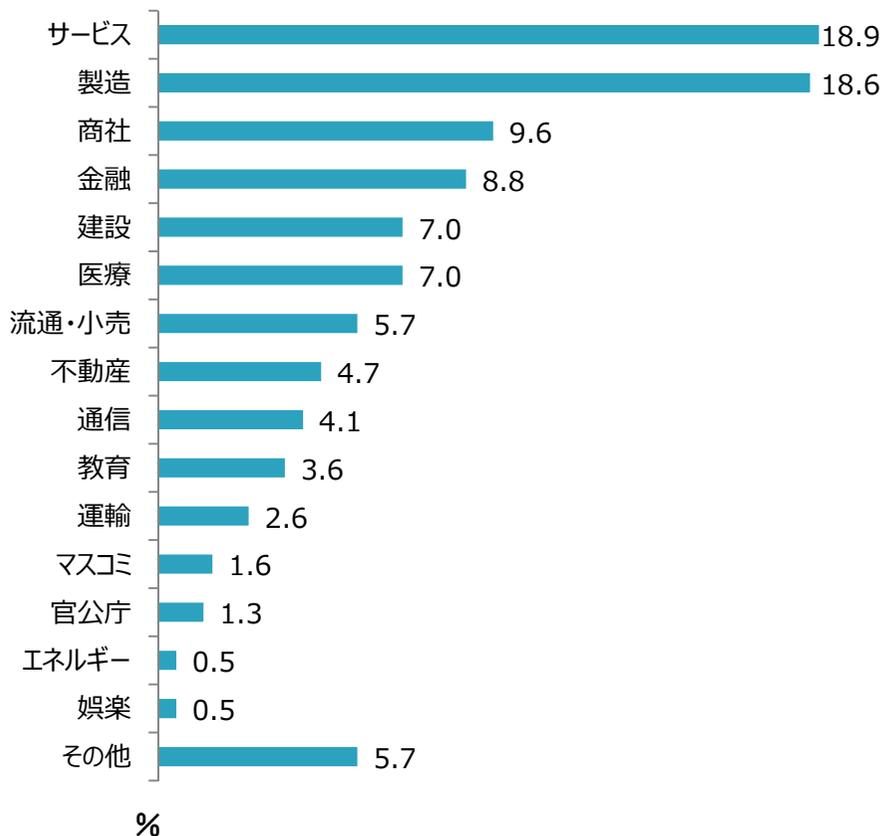


n=122

暮らし方

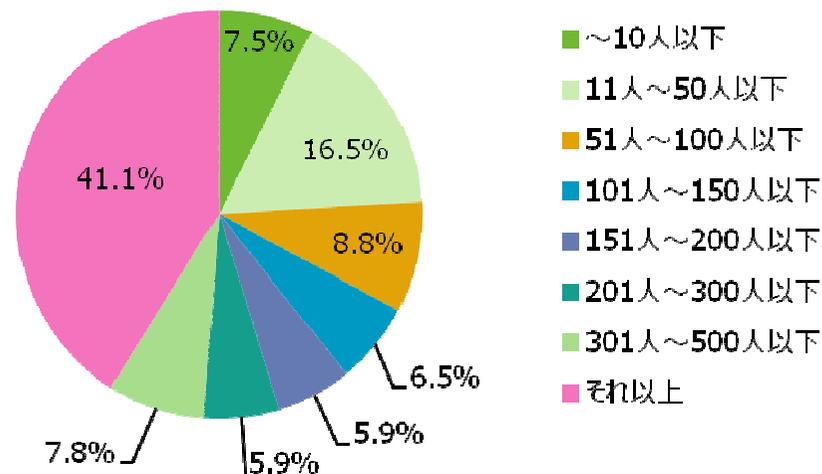


業種

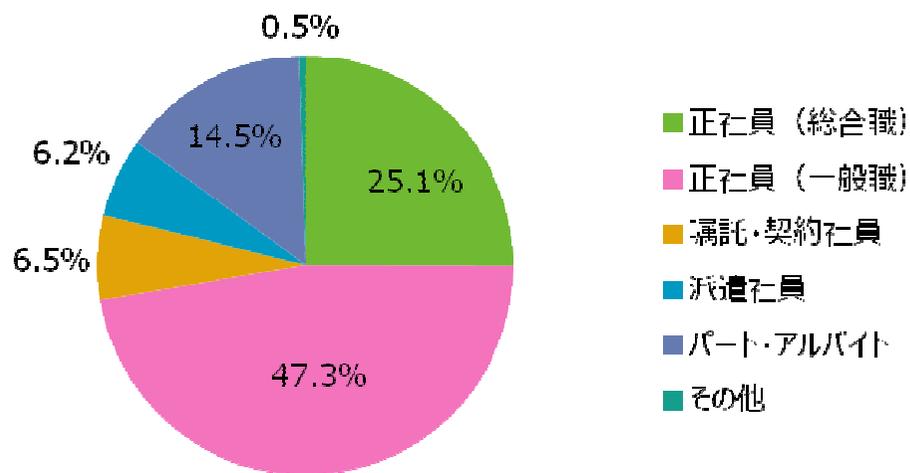


業種で多いのは「サービス」「製造」で各2割弱。
 次いで「商社」「金融」「建設」「医療」など。
 従業員数が300人より多い、大手企業の勤務者が48.9%。

規模



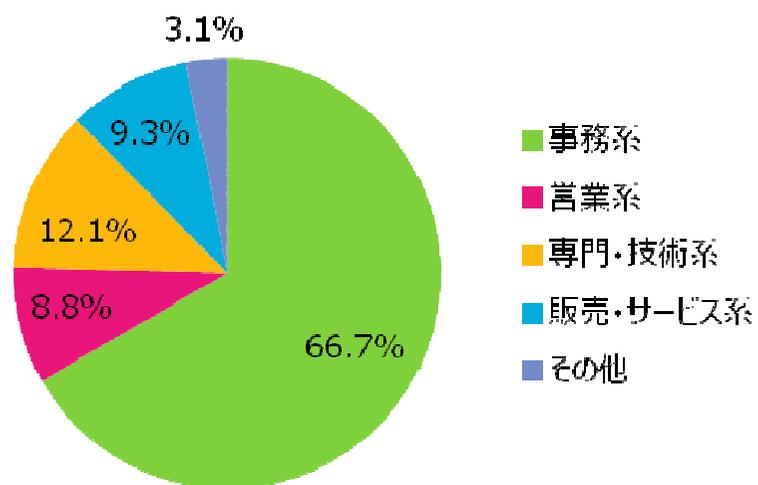
雇用形態



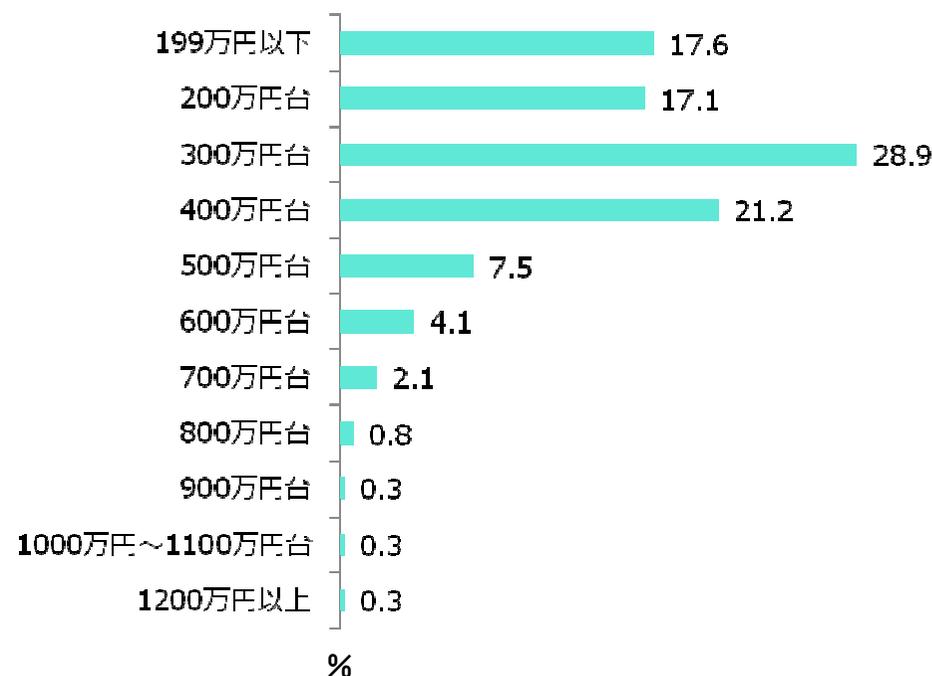
「正社員」は72.4%で、そのうち65.3%が一般職。「事務系」の職種が66.7%と大多数。

年収は、「300万円台」が最も多く、28.9%、次いで「400万円台」が21.2%。500万円台以上は、15.4%。

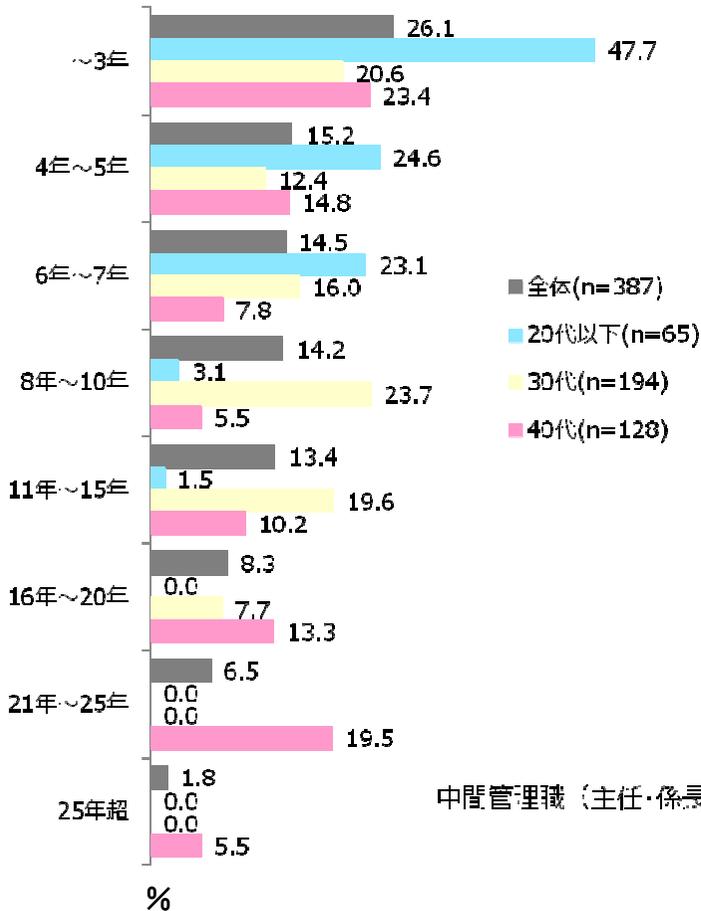
職種



年収



今の職場での勤続年数

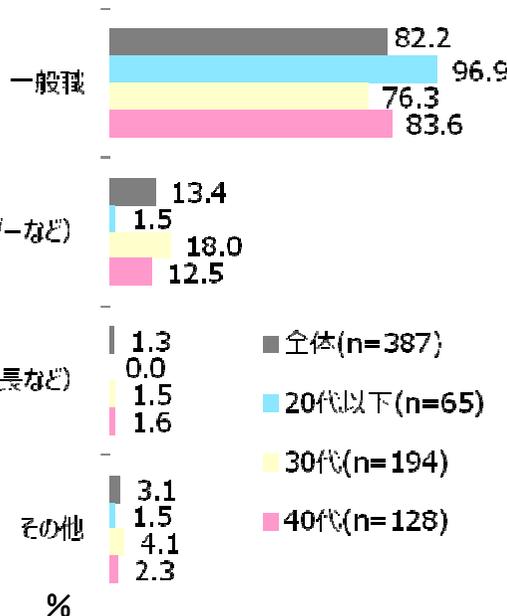


今の職場での勤続年数は「3年以下」が26.1%と最も多い。20代では約半数、30代・40代でも2割を超える。一方で勤続年数11年以上の人は3割。

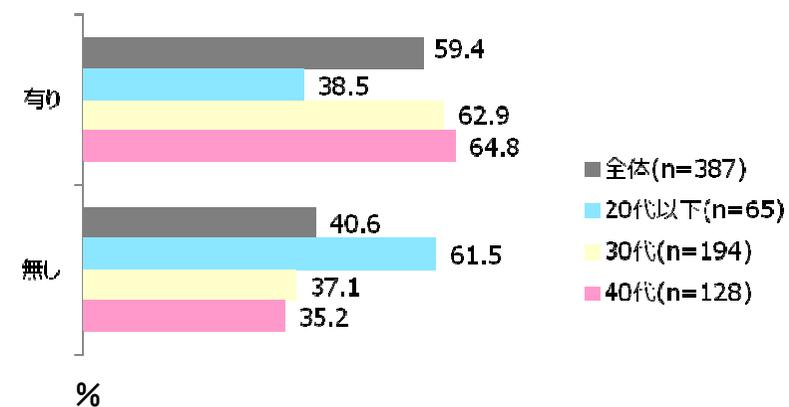
現在のポジションは「一般職」が82.2%と大半だが、「中間管理職」が30代では18.0%、40代では12.5%いる。

「転職経験有り」は20代では4割弱だが、30代・40代では各6割強に増える。

現在のポジション

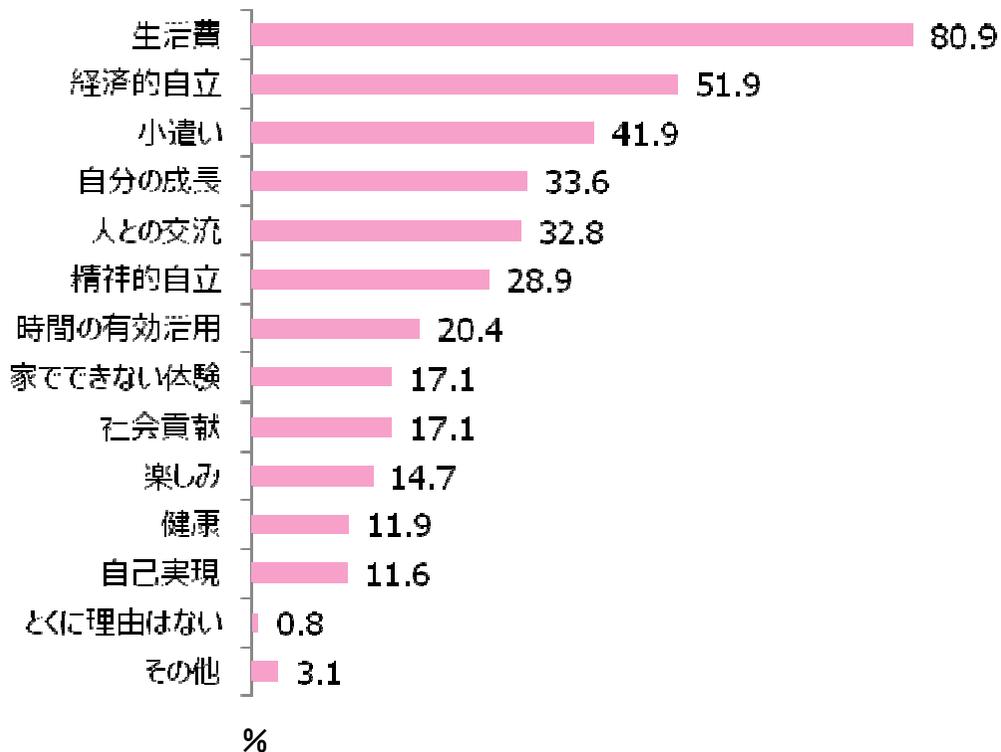


転職経験



現在、働いている理由

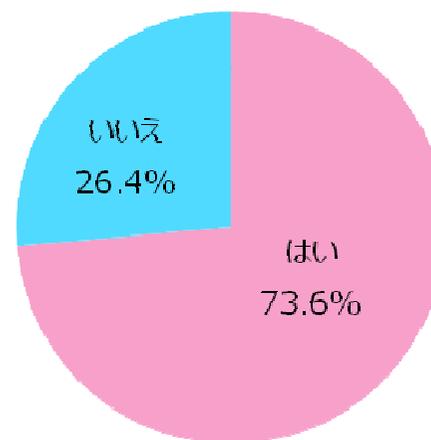
複数回答



現在、働いている理由のトップは「生活費」で80.9%。「経済的自立」51.9%、「小遣い」41.9%と金銭的な理由が上位を占める。

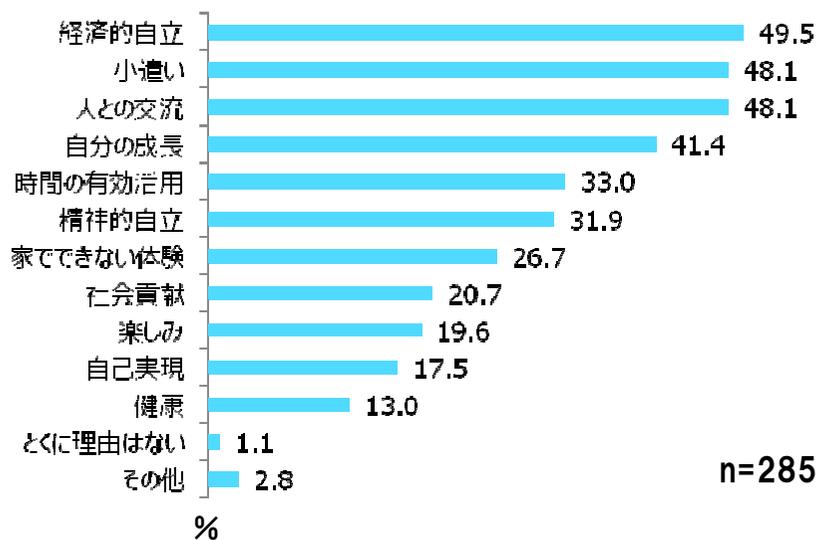
とはいえ、「経済的な不安がないとしても働き続けたい」という回答が73.6%で、その内容は人それぞれではあるものの、金銭以外の目的も重視されている（次ページ参照）。

現在も将来も経済的な不安がないとしたら、働き続けたいか？



働き続けたい理由

複数回答



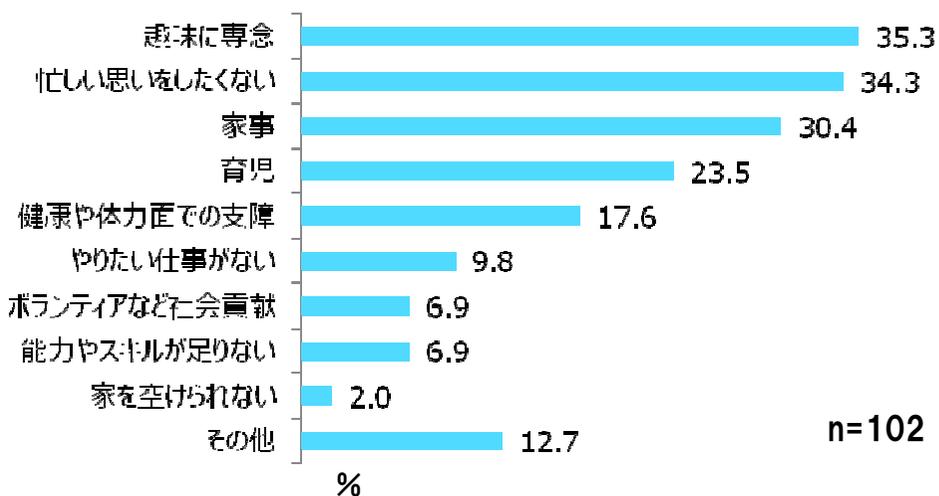
経済的な不安がなくても、働き続けたい理由としては「経済的自立」49.5%「小遣い」48.1%と、経済的な自由を求める声が多数。

「人との交流」48.1%、「自分の成長」41.4%と仕事を通じて得られるものを重視する意見も多い。

働きたくない理由の上位は「趣味に専念」35.3%、「忙しい思いをしたくない」34.3%、「家事」30.4%、「育児」23.5%。

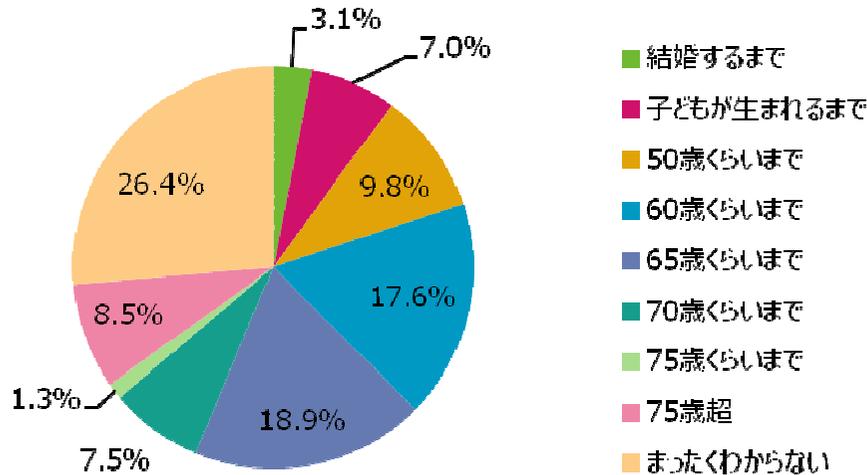
働きたくない理由

複数回答



年令	未既婚	子供の有無	働きたい理由
26歳	独身	いない	働くことができる年齢からずっと働いてきたので働かない生活は考えられない。仕事でしか感じない成長があると思う。仕事のあとのビールは格別なので(笑)
27歳	独身	いない	転職して4年。やっと自分の希望する部署でこれまで勉強してきたことが発揮できそうです。これからが楽しみな気持ちでいます！
29歳	既婚	いる	専業主婦も経験しましたがやはり、外で交流をもつということは必要だと思います。仕事をする事で自分自身を高めることもできますし、切り替えができて良いと思います。
30歳	既婚	いない	経済的な不安がないのであれば、他にやりたいことがあるなど状況によってはフルタイムでは働かないかもしれないけれど、プロとして対価を払ってもらえる価値のある自分ではありつづけたい。
31歳	既婚	いない	もはや、お金のためだけに働いている人というのは少数なのではないかと思えます。会社の同僚や友人との人との繋がりも自分の生活を送る上で欠かせないパートナーとなっています。仕事を通して学ぶ社会の仕組みに感銘を受けたり、海外に行かせてもらったり、子供の進路や教育上もとても知識が増えて良いと思います。
31歳	既婚	いる	仕事をしないと人との交流が限定されると思うので、人と出会った中での自己の成長も続けたい。今の仕事でなくともパートやボランティアなど別の形で人との交流をしたくなると思う。
33歳	既婚	いる	働いていると、世代の違う人との関わりが持てるので、それだけで自分の世界が広がる感じがする。
33歳	既婚	いない	家庭だけの生活では視野が狭まると思う。働いて少しでも金銭的余裕を得ていた方がプライベートも楽しめる
34歳	既婚	いない	家に居たら回りの状況が分からなくなるし、女子力が下がるので。
35歳	既婚	いる	妻や母としての自分以外の自分も存在してほしいので。
35歳	独身	いない	無職になれば絶対ストレスフリーになれるので、魅力的なのですが…何となく後ろめたい気持ちもありそう。休日の楽しみも全滅しそうなので。
37歳	既婚	いる	将来子どもに依存しないように仕事はしたいと思っている。自分の母が主婦業をしていたので未だに私の生活に口出しをしてくるのでうんざりしている。自分の子どもにはそういう思いをさせたくないで家庭以外でも自分の居場所を作っておきたい。
38歳	既婚	いる	余裕があるとしても、経験を生かして社会に貢献し自分を高めたい。
39歳	独身	いない	働かなかつたらたぶん何にもしないダメ人間になると思うから。基本的にぐうたらだから
43歳	独身	いる	仕事をしている姿を子供に見せたい
47歳	既婚	いる	仕事をする事が自信に繋がっていると思うため。ただし間違いなく今よりもっと短時間に思う
48歳	独身	いる	働きた方が生活にメリハリも出来るし、自由になるお金は多い程、新しい物にも挑戦出来ると思うから
年令	未既婚	子供の有無	働きたくない理由
26歳	1.独身	2.いない	やりたいことを可能な限り詰め込む数年が欲しい
28歳	1.独身	2.いない	誰かに頭を下げたり、謝ったりすることが多い仕事よりも家で家事をしていた方が精神的に楽だと思う。
29歳	2.既婚	2.いない	趣味の旅行をして生活したい。
36歳	1.独身	2.いない	色々と疲れたので少しゆっくりしたいです
37歳	1.独身	2.いない	人間関係で悩む方なのでお金の困らなければ働かないかも
38歳	1.独身	2.いない	もし家族をもてたら家のことだけやってるだけで大変なのでそこに力を入れたい
39歳	1.独身	2.いない	働くのが好きではないから。お金の心配をしなくていいのなら働きたくない。遊んでくらしたい。
43歳	1.独身	1.いる	自由な時間がないから

収入を得る仕事をいつまで続けたいか？



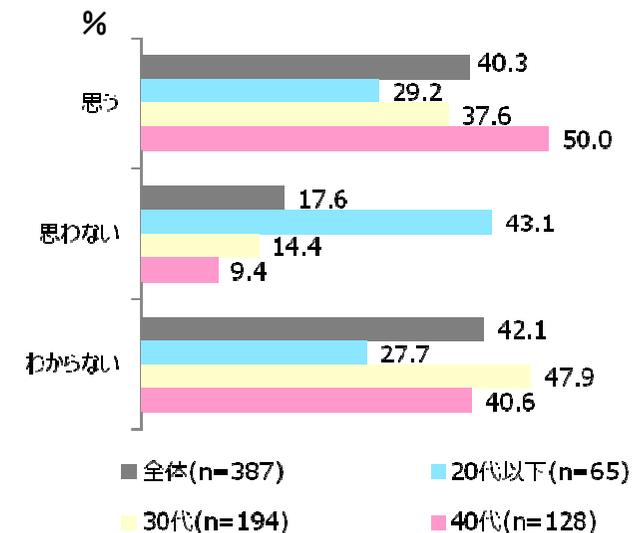
結婚・出産による離職を望む人は1割程度。大多数が何らかの形で仕事を続けたいと思っていて、60歳を超えても働きたい人は36.2%。

ただ、会社などの組織に属して定年まで働くと思う人は約4割。年代が上がるごとに増え、40代では50%がそう思っている。

一方20代は「組織に属して定年まで働かと思わない」という人が43.1%。30代は、「わからない」が47.9%と最も多く、世代によって差が出た。

年齢	未既婚	子供の有無	収入を得る仕事をいつまで続けたいか？	理由
33歳	既婚	いる	50歳くらいまで	50代になると子供がある程度手が離れる年齢になるので、今度は自分の趣味や旅行と言った時間を持ちたいから。
42歳	既婚	いる	60歳くらいまで	定年までだと自分の好きなことをする時間がとれないのでこのあたりでゆとりしたい。
31歳	既婚	いる		イマドキ定年は65歳、と言われるけれどそこまで働きたいとは思わない。体力的に辛くなったら(通勤電車等)もっと早く辞めるかも。
38歳	既婚	いる		夫婦2人で楽しめる時間とお金ができたらやめたい。
41歳	既婚	いる	定年まで働いて退職金をしっかりもらいたいが、ある程度体力がある内にリタイアして自分のしたかった生活をしてみたいから。	
27歳	既婚	いる	65歳くらいまで	子どもが大きくなって自分の趣味などに使うお金が必要だから。あと、家で過ごすよりも働いていたほうが生活にメリハリがでると思うから。
36歳	既婚	いない		年金がもらえるようになったらゆとりしたいから
45歳	独身	いない		なんとなく65歳くらいになったら体力が衰えそうなので
35歳	既婚	いる	70歳くらいまで	しっかり仕事して稼いで子供や孫のために使いたい
37歳	独身	いない		老後の不安と、一度辞めたら再就職の不安もあるのでギリギリまで働くと思う
40歳	独身	いない		金銭的にも精神的にも潤沢な生活をする為に無理のない程度に仕事したいから。
41歳	既婚	いる		定年は65歳だが、5年くらいは嘱託で働けそうなので。健康であれば働きたい。
33歳	独身	いない	75歳くらいまで	元気で働けるならいくつになっても働きたいから
45歳	独身	いる	75歳超	身体が大丈夫な限り 自分のいる意味として居場所がほしいので
38歳	独身	いない	まったくわからない	一番大切にしたいのは家庭なので、どんな人と結婚するかで左右されそう。
38歳	独身	いない		身体が動かなくなるまで働きたいので、年齢は分からない(関係ない)から

会社などの組織に属して定年まで働くと思うか？



**仕事をする上で、
すでになんらかの行動をしていること** 複数回答



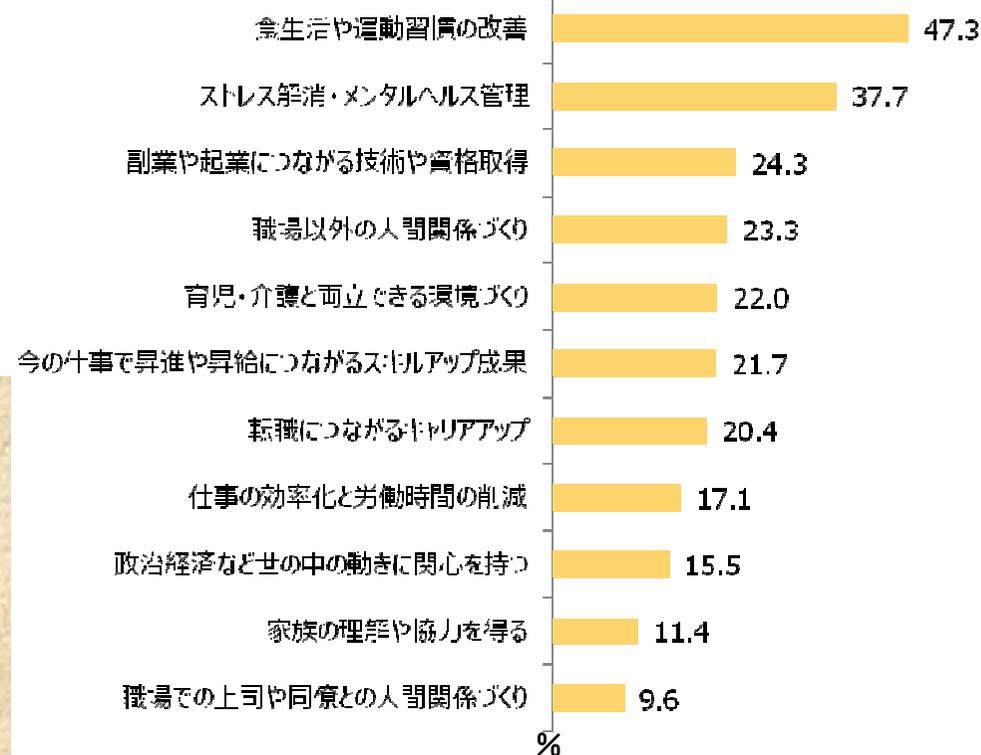
仕事をしていくために今から行動したことがいいと思うことも、「食生活や運動習慣の改善」47.3%、「ストレス解消・メンタルヘルスマネジメント」37.7%がトップ2。

「副業や起業につながる技術や資格取得」24.3%、「職場以外の人間関係づくり」23.3%と、今の職場・仕事の枠を超えた多様な働き方を意識したものが上位に。

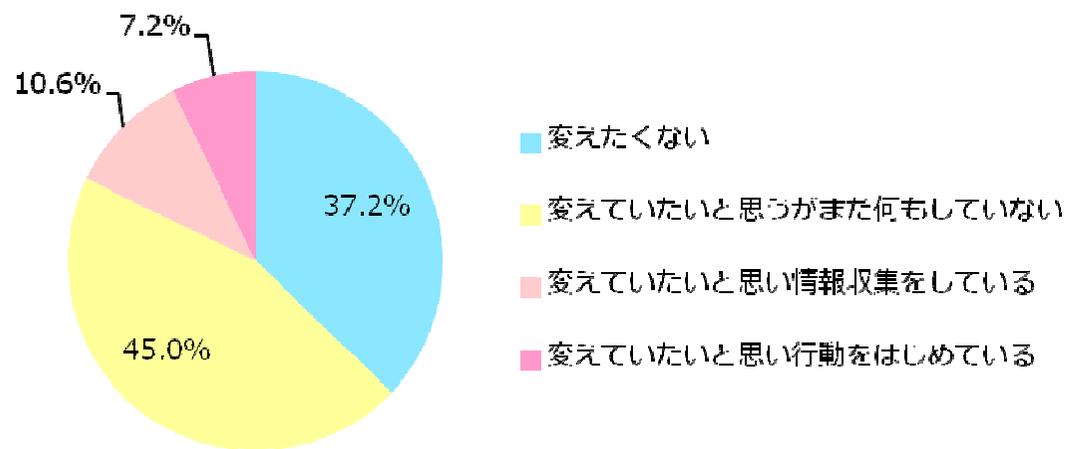
仕事をしていくために、すでに行っていることの上位は「食生活や運動習慣の改善」44.7%、「ストレス解消・メンタルヘルスマネジメント」37.2%。

日々の業務で実践しやすい「仕事の効率化と労働時間の削減」32.3%、「上司や同僚との人間関係づくり」26.1%は、すでに行動している項目の上位に。

**仕事をする上で、
今から行動した方がいいと思うこと** 複数回答

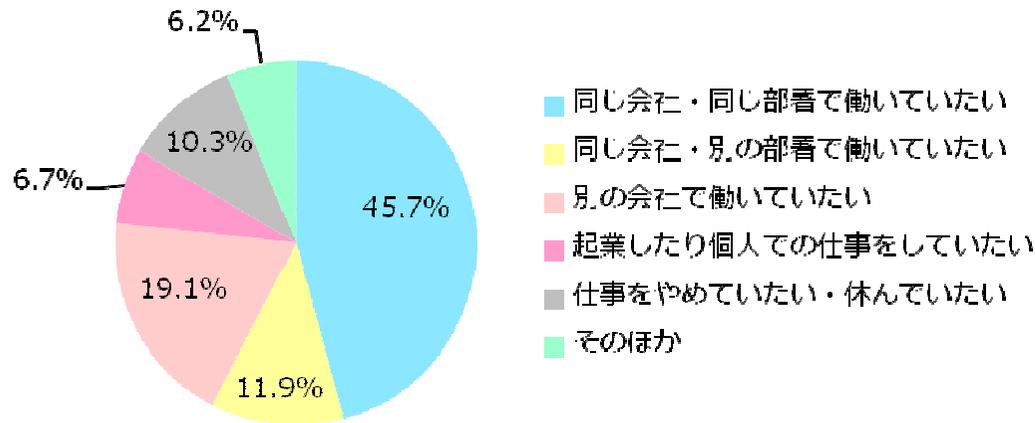


**2021年(4年後) ごろには、
今と働き方を変えていきたいか？**



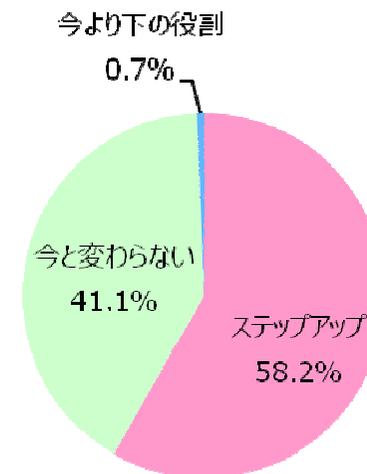
4年後、働き方を変えていきたいと思っている人が6割超。
実際にアクションを起こしている人（情報収集をしている、行動をはじめている）は17.8%。

2021年（4年後）、今の職場で働いていたいか？



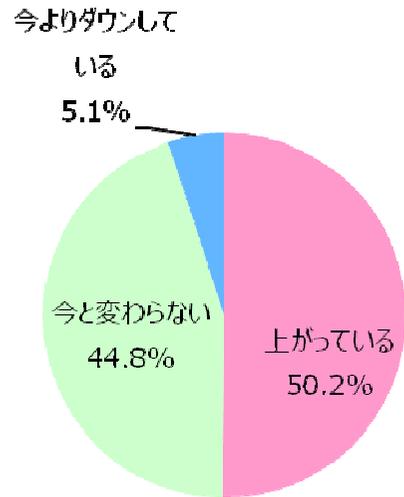
4年後も今の会社で働いていたい人は、全体の57.6%と半数以上。
 別の会社での勤務希望者を含めると、「会社などの組織で働きたい」という人は76.7%。
 この人たちに、4年後の役割・役職の希望を聞くとステップアップしていると思う人が58.2%。
 現状維持だと思える人が41.1%。

2021年（4年後）、今よりも役割・役職はどうありたいか？



n=297

2021年（4年後）、年収は変わっている？



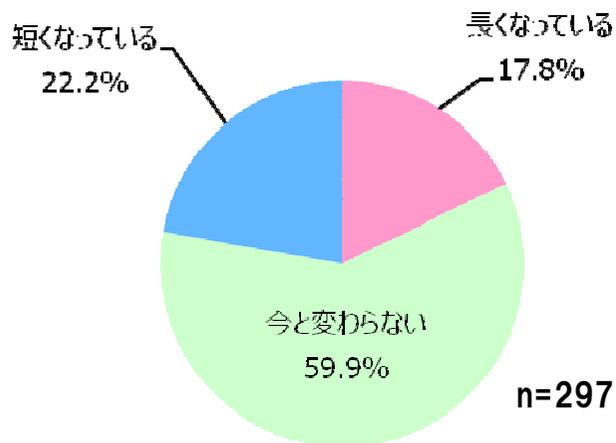
n=297

14ページの設問「2021年（4年後）、今の職場で働いていたいか？」で「同じ会社または別の会社で働いていたい」と回答した人に、4年後の年収予測を聞いた。

「上がっている」が50.2%で最多。
その理由をフリーアンサーで聞いたところ、毎年ベースアップがある人も多いが、キャリアアップや、子供の成長による仕事の比重アップといった理由も。

年齢	未婚既婚	子供の有無	年収はどう変わっていると思うか？	理由
36歳	独身	いない	上がっている	よっぽどの理由がない限り、毎年昇給があるから
35歳	独身	いない		役職にはなりたくないが、短時間で結果をあげるひとなり年収アップにつなげたい。
38歳	独身	いない		年功序列ではないが、結果を出せば給料に反映されるはず。
40歳	独身	いない		景気上昇と自分のスキルアップを期待したいから。
40歳	既婚	いる		子供の成長にあわせて働く時間を長くできるから
40歳	独身	いない	今と変わらない	2~3年では上がらないと思いますが、役職について実績を残して、グレードアップすれば年収は数十万単位で上がるはずなので頑張りたい。
29歳	既婚	いる		女性のステップアップに消極的な会社だから
36歳	独身	いない	今よりダウンしている	現在は派遣だから、社員にならない限り給料は変わらない
38歳	既婚	いる		子育てがあるので家庭優先になる。
26歳	既婚	いる	今よりダウンしている	上がったら嬉しいけど育児もあるので働く日数が減りそうだから。
43歳	独身	いない		会社の業績に期待が持てない

2021年（4年後）、自分の働く時間は変わっていると思うか？



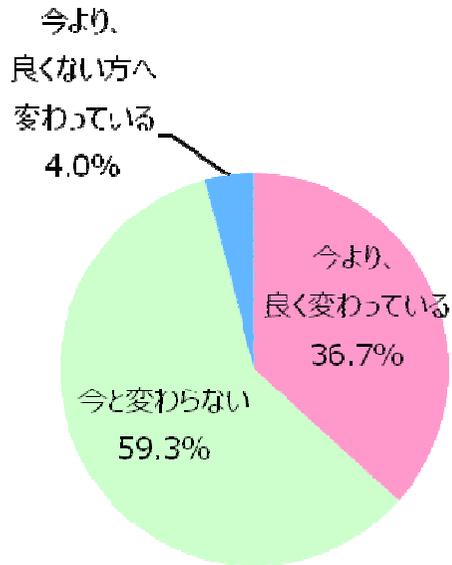
14ページの設問「2021年（4年後）、今の職場で働いていたいのか？」で「同じ会社または別の会社で働いていたい」と回答した人に、4年後の自身の労働時間について予測を聞いた。

「今と変わらない」が59.9%。

「長くなっている」「短くなっている」の理由をフリーアンサーで聞くと、育児・介護の影響や、会社の業務効率化・残業時間削減、自身の働き方の変更などが挙げられた。

年齢	未婚既婚	子供の有無	働く時間はどう変わっていると思いますか？	理由
35歳	既婚	いる	長くなっている	子供が学校に行きだすと、働ける時間を増やしたい
40歳	独身	いない		役職に就くことを前提に考えると長くなっているに違いない。
30歳	独身	いない	今と変わらない	事務職で今も残業無しなので。
31歳	既婚	いる		仕事を効率化しても時間は短縮されない職場(またそういう変化を好まない保守的な組織)なので、今と変わらないと思う。
37歳	独身	いない		業務効率化を取り組んだ結果、現在残業がほとんどないし、今後も増える見込みがないため
38歳	独身	いない		今が7時間勤務で自分の時間を優先できるので、できるだけキープしたい。
26歳	独身	いない	短くなっている	今はフルタイムで残業もしているが、育児のための短時間勤務、残業削減をしているだろうと思う。
31歳	既婚	いない		家や外出先からメールチェックや資料を確認するシステムも導入されて、簡単な業務で職場に行かなければならないシチュエーションが減りました。
40歳	既婚	いない		業務整理をしたり、新しいシステム導入などがあるため

4年後、今よりも「人生の幸せにつながる働き方」になっていると思うか？



n=297

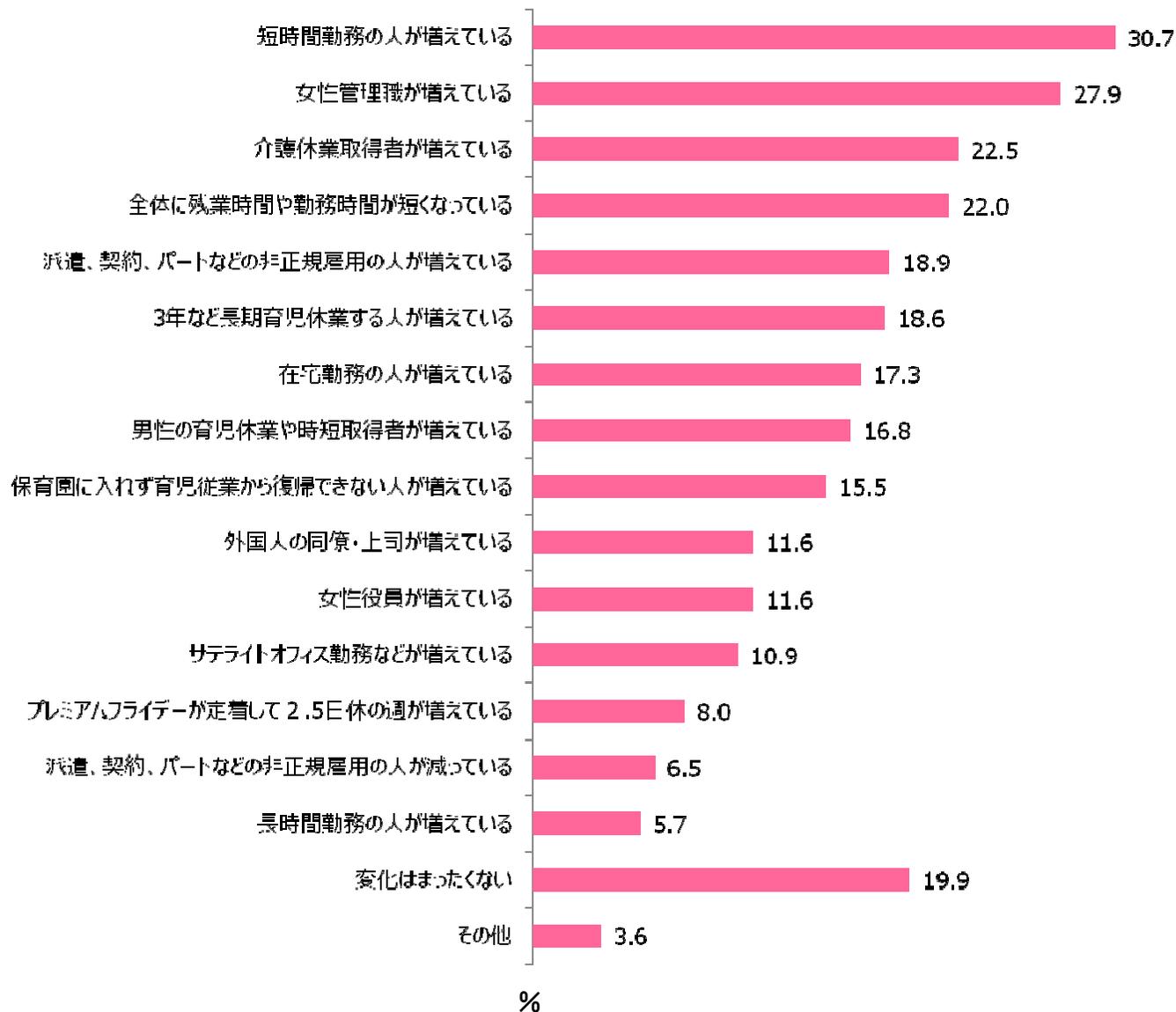
14ページの設問「2021年（4年後）、今の職場で働いていたいのか？」で「同じ会社または別の会社で働いていたい」と回答した人に、4年後の働き方の幸福度の予測を聞いた。

「今と変わらない」が59.3%で最も多いが、フリーアンサーでは「現状に満足」「幸せとを感じるかどうかは自分次第」と前向きな声も多い。一方で、「会社や自分の状況が変わると思えない」という声も見られた。

年齢	未既婚	子供の有無	今よりも「人生の幸せにつながる働き方」になっていると思うか？	理由
24歳	独身	いない	今より、良く変わっている	今までは自分の自立した生活のためにお金を稼いでいたが、家族ができて自分以外の人のためにも働いていると思うから。勤務時間が減り、給与が減ったとしてもそれは幸せな働き方だと思っている。
30歳	独身	いない		今は仕事に追われる生活だが、趣味などに費やす時間が増えるといいなと思う
35歳	既婚	いる		育児、家事、自分の時間をもう少し大切にできていると思うので。
38歳	既婚	いる		子育てが落ち着くので、仕事に集中できる
40歳	独身	いない		これまではストレスを受けずに実績を残す働き方を優先していたが、役職につくことでより立体的に仕事を構築していけると思うので、ストレスは増えるが、やりがいはもっと大きくなっているはず。
41歳	独身	いない	今と変わらない	世の中の流れが働き方を見直す風向きになってきているから。
31歳	既婚	いる		働き方は組織がどうしたいか、だと思うので変わらないと思う。本当はもっと柔軟な働き方を求めるけど。
42歳	独身	いない		幸せを感じるかどうかは自分の感じ方次第だから
42歳	既婚	いる		今までも変わらなかったし今後も変わらないと思う。
44歳	独身	いない	今より、良くない方へ変わっている	今も幸せ。働けて、不自由なく生活できているので、十分だと思っている。
41歳	独身	いない		年齢が上がるにつれ、体力的にしんどくなってるかも。

4年後、現在の会社・職場が、今と変化していると思うこと

複数回答

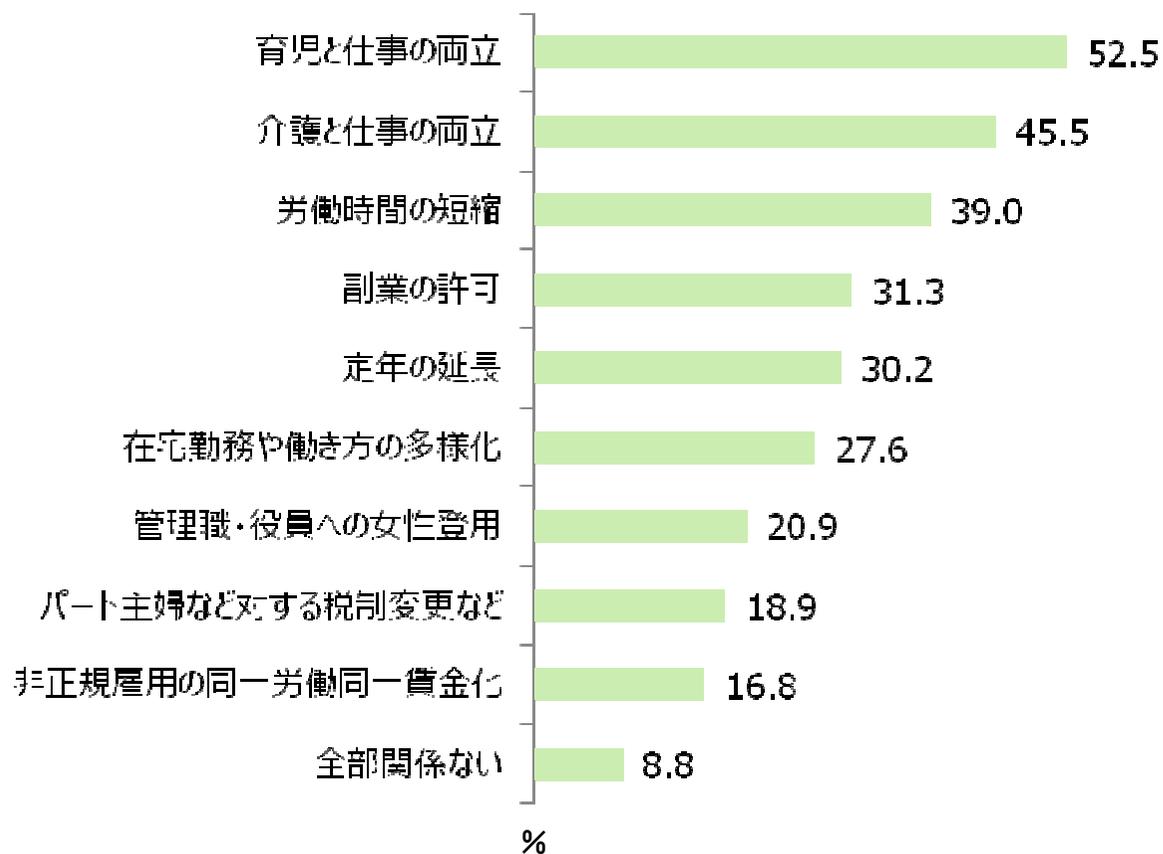


現在勤務している会社・職場で、4年後に変化していると思うことを17項目を挙げて聞いたところ、2割以上のポイントを集めたのは、「短時間勤務者の増加」30.7%、「女性管理職の増加」27.9%、「介護休業取得者の増加」22.5%、「残業時間や勤務時間の短縮」22.0%。

「変化はまったくない」と回答した人も約2割いるが、少子高齢化などの社会変化や日本政府の働き方改革にともなう労働環境の変化を身近に感じている人は増えている。

「自分の人生に関係がありそう」と思う施策

複数回答



日本政府が行うさまざまな施策で、自分の人生に関係がありそうと思うものは、「育児と仕事の両立」が52.5%、「介護と仕事の両立」が45.5%。

こういったライフステージの変化にともなう柔軟な働き方を意識し、「労働時間の短縮」39.0%、「副業の許可」31.3%、「在宅勤務や働き方の多様化」27.6%への関心も高め。

年齢	未婚	子供の有無	雇用形態	自分にとって「幸せな働き方」のイメージと、その理由
23歳	独身	いない	正社員(一般職)	正社員で働いて、家にお金を入れて、貯金をしつつ好きなことにお金を使う。変化を望まず安定した生活を送りたいから
24歳	独身	いない	正社員(総合職)	生活とのバランスが良く子育てとも両立出来る仕事。今営業職をしており、子供が出来たら難しい仕事だなと感じている。子育てをしながらでもやりがいの得られる仕事が出来たら幸せだと思う。
26歳	独身	いない	正社員(総合職)	仕事もプライベートも無理なく健康に生きていける。仕事が人生のすべてではないので、時間的、精神的、体力的に余裕があり、趣味やプライベートも充実させられることが幸せだと思うから
28歳	既婚	いる	正社員(一般職)	家では育児家事、職場では仕事とメリハリをつけて働くこと。子どもが生まれる前は仕事がとても好きで、残業も気にならなかった。これからは子どもとの時間も大切になったので、どちらも疎かにしない働き方をしていきたいから
29歳	既婚	いる	パート・アルバイト	家庭、職場両方からの理解とサポートを得た上で、自分なりに精一杯働き、その結果、両方から認めてもらえて、必要な人材だと思ってもらえるような存在になれたら幸せだと思う
30歳	独身	いない	派遣社員	在宅で、好きなときに仕事ができる働き方(1日に決められた仕事量などはこなす前提で)。就業時間に拘束されることなく、また、在宅勤務であれば人間関係などの余計な悩みがないため。都合のいい時間に働ければ、家事育児との両立も可能だと思う。
30歳	既婚	いない	正社員(総合職)	尊敬できる同僚に囲まれている。人は人を見て成長するところが少なからずあるから。
31歳	既婚	いる	正社員(総合職)	労働時間が選べること。バリバリ働きたいか、育児や介護の時間をとりたいか柔軟に選べると良い。時間に余裕があれば気持ちの余裕も持てて、家族に当たり散らすことが減りそうだから。
32歳	独身	いない	正社員(一般職)	時間内に迅速に持っている仕事を終わらせて、定時に帰り帰宅後は趣味のお酒や映画鑑賞に時間を費やせる働き方。一生懸命働いて一生懸命遊びたいので。
33歳	既婚	いない	正社員(総合職)	残業至上主義が無くなる。残業をしないように効率よく働いても残業しないからサボってるという意識の人が多すぎる。何の解決にもならない。
36歳	独身	いる	正社員(一般職)	年功序列の雇用形態が崩壊している中で時代に沿って年功序列が現実的ではないのならその分、余暇などの休みを設けて副業や次の転職に向けて働きながら次のステップに向けての自由な時間が増えるのが理想的。年金生活は私たち世代にとっては崩壊しつつある課題なので、定年を迎える前の段階でそれぞれがいかにか余暇を過ごすための道のりを描いて生活するのは必須に感じるから。
37歳	独身	いない	派遣社員	場所に捉われず仕事が出来るといい。通勤のストレス時間短縮、育児や介護を両立しやすい働き方が出来るといいなと思うから。
39歳	独身	いない	正社員(一般職)	心身共に自己の成長に繋がるような働き方。同じ一日の大半を職場で過ごすのであればそこで成長したいから。
41歳	既婚	いる	正社員(一般職)	家庭と仕事を両立して、無理しすぎることなく働ける環境。子どもだけでなく、介護問題も他人事ではないので仕事と両立できる環境を希望します。ぎすぎすしない、笑顔のある環境が良いです。
41歳	既婚	いる	正社員(総合職)	家庭を犠牲にする事なく、仕事でも自己実現も目指せる働き方。現状は、家庭を優先すれば仕事での自己実現は諦め、仕事での自己実現を優先すれば家庭を犠牲にせざるを得ないから。
42歳	独身	いない	正社員(一般職)	現状維持、ストレス無く、無理せず長く働ければ良いと思います。身体が一番なのでストレス無く働ければ良いので
44歳	既婚	いる	パート・アルバイト	夫が家事を半分やってくれて、私も正社員で働ける。夫の給料は増えないので、私の給料で補うしかない。夫が定時に帰ってくれば、私も時間ができる。